

出雲市入札制度等監視委員会 平成 23 年度(上半期分)

議事概要

開催日及び場所	平成 23 年 12 月 2 日（金）15 時 00 分～17 時 00 分 出雲市役所 5 階 入札室		
委員	委員長 野村 泰弘（島根大学教授） 委員 河原 莊一郎（松江工業高等専門学校教授） 周藤 滋（弁護士） 秦 久光（出雲市自治会連合会副会長） 横田 笑子（税理士）		
審議対象期間	平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日		
報告事項	（1）入札方式別発注工事の状況について （2）指名停止の運用状況について （3）低入札価格調査制度の運用状況について （4）苦情処理の運用状況について （5）その他		
審議事項	抽出案件（3件）	備 考	
	一般競争入札 （通常型）	1．向陽中学校校舎 建築主体工事	抽出の考え方 （抽出担当 河原委員） ・抽出対象工事が、部局が重複しないことを配慮した。 ・1番目は落札金額が大きかったこと ・2・3番目は、応札者が多く、落札率が低かったこと 以上の理由から3件を抽出した。
	一般競争入札 （簡易型）	2．平田地区廃棄物 ストックヤード 側溝工事	
	3．菟崎小池谷線道 路改良工事（その 6）		
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし		

【報告事項について】	
(1) 入札方式別発注工事の状況について	
意見・質問	回 答
上半期の集計に斐川町の工事件数は入っているか。	合併前の出雲市の状況であり、斐川町の件数は入っていない。
(5) その他	
意見・質問	回 答
とび土工コンクリートが、平成 22 年度は件数が少なかったが、23 年度上期は大幅に増えているのはなぜか。 土木一式工事では A B C のランクに分かれているが、とび土工コンクリートにはランクがあるか。 土木一式工事ととび土工コンクリートの区分に、明確に金額的な基準があるか。	以前は、とび土工コンクリートと土木工事一式を区分していなかった。 とび土工コンクリートにランクはない。 金額的な区分はない。 総合的な企画調整が必要なものを土木一式としている。
【審議事項について】	
1) 向陽中学校校舎建築主体工事	
意見・質問	回 答
入札希望価格とは何か。 入札希望価格から、予定価格を推察されることはないか。 落札率がほぼ 100%となっているが、問題はないか。 数字がもれていることはないか、業者の積算が的確に当たったということか。 工事の契約書に、入札額の内訳が記載してあるか。 本工事の設計業務は入札しているのか。	市として希望している入札額である。市では予定価格の事前公表を 19 年度に廃止し、その際、入札希望価格を提示することとした。 過去の入札結果から、推察はできるが、予定価格そのものはわからない。 問題はない。 もれていることはない。設計の仕組みや単価は公表されている。業者の積算が結果的に予定価格に近かったと思われる。 契約書に、内訳は記載していないが、入札の時に、内訳書を求めている。 入札により発注している。

2) 平田地区廃棄物ストックヤード側溝工事	
意見・質問	回 答
<p>応札業者数が多いが、市としての判断はどうか。 失格の業者は、安すぎたためか。</p> <p>土木一式工事に比べると、とび土工コンクリートの落札率が低くなっているがどうか。</p>	<p>競争の原理が働くため、多いほうが望ましい。 最低制限価格より、安くなったため失格となった。 統計的に見ると、とび土工コンクリートの方が、落札率が低い傾向にある。</p>
3) 藪崎小池谷線道路改良工事(その6)	
意見・質問	回 答
<p>この工事は平田地区の工事であるが、応札した業者は平田地区の業者か。また、落札者はどこの業者か。 この工事は、(その6)となっている、昨年までは土木一式だったが、(その5)までの結果はどういう状況か。何社指名しているか。</p> <p>この工事は、今後へ続くのか。 1千万円以下の工事はABCどのランクになるのか。また、今回はとび土工コンクリートで入札を行ったが、落札者は何ランクであったか。 落札者は工事を下請けに出せるか。 どの程度、どこへ出したか、実態は把握をしているか。 15社が参加して、4社が失格となっているが、この判断は何か。 この工事と、平田地区廃棄物ストックヤード側溝工事は、いずれも15社の参加があったが、そのうち1社しか変わらないがなぜか。 この工事の、(その1)から(その5)までの落札業者の状況はどうか。続けて落札していることはないか。</p>	<p>応札者の中には平田地区でない業者も参加していたが、落札者は平田の業者であった。 平成18年から工事を始めて、今年度は6年目である。昨年までは土木一式で行っている、平田の業者のみ参加し、平田市内の業者が落札した。昨年は、指名が19業者、応札したのは9社であった。 平成25年度まで、計画している。 土木一式工事の場合の金額帯はC級に該当する。今回の落札者は、土木A級の業者であった。</p> <p>出すことが可能である。 下請けに出した場合、下請けの報告を受けている。実態は把握している。 最低制限価格を下回った4社を失格とした。 どちらも平田地域内の工事なので、同じような業者が参加したと思われる。</p> <p>5つのうち2つが同一の業者で、その他は別の業者となっている。</p>